



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和元年6月3日 第3号
小笠原村立小笠原中学校
校長 小野満 賢

<http://www.ogachu.que.ne.jp/>

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>

「働き方改革」～まず自分を変えてみる

校長 小野満 賢

今、全国で働き方改革が求められています。学校はもちろん例外ではありません。

教員の長時間労働はかなり前から議論されていました。しかし、公立の小・中学校では出勤簿への押印のみが出退勤を管理するものであり、実際にどのくらいの時間働いているのかが不明で、それこそが議論が深まらない大きな要因でした。東京都教育委員会が平成29年に調査を行った結果、時間外労働が月80時間（いわゆる過労死ライン）を越える教員の割合が、中学校では68.2%にもなっているという事実が明らかになり、大きな話題になりました。

教員の勤務実態について直ちに改善が必要とする中央教育審議会の答申をふまえ、文部科学省は平成31年1月に「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を示しました。さらに3月には「学校における働き方改革に関する取組の徹底について」という通知を出し、今回の改革を実効性のあるものにするという強い意気込みを示しています。

東京都教育委員会は、平成30年2月に「学校における働き方改革推進プラン」を策定し、前述の過労死ラインである時間外労働月80時間を超える教員をゼロにすることを目標にさまざまな取組を進めていましたが、令和元年5月23日に、先の文部科学省が示したガイドラインを参考に、「都立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する方針」を策定しました。それによると、数値目標はさらに高く、教員の時間外労働は、原則1ヶ月45時間、1年間360時間が上限の目安時間としています。

さて、1ヶ月45時間の時間外労働とはどんなものでしょう。平日の20日間を勤務するとして、45時間を20日で割ると、1日あたり2時間15分の時間外労働が限度ということになります。本校の勤務時間は午前7時45分から午後4時30分までですから、定時に出勤したとして単純に計算すると午後6時45分には退勤しなければなりません。しかもこれは平日のみ勤務したと仮定していますので、例えば土曜日に4時間部活動をした場合、平日の退勤時間はもっと早い時間になるわけです。

この数値目標は、現状の学校現場に大きな衝撃を与えました。中学校で言えば、部活動の指導を終えた午後6時30分からがやっと自分の仕事が始められるのであって、午後8時から9時までは職員室に多くの教員が残っているのが事実であろうと思います。なぜならそれが当たり前のことになっていて、正常な勤務形態ではないのは分かっているにせよ、教員とはそういう仕事だと半ば諦めていたところもあったからです。私自身もご多分にもれず、長い間、家に帰って夕飯にありつくのはほぼ毎日午後10時を回っていました。朝も電車の混雑を避ける意味もあって始業の1時間前には勤務先に到着し、仕事をしていました。もちろん体力的にもきつかったのですが、それがすべて子どもたちのための仕事で、時間がかかるのは仕方ないと思っていたわけです。

しかし、「午後6時45分に退勤するのは無理です」と思っているうちは、この改革は何も進みません。世間の後押しがこれだけあるにも関わらず、学校だけ何も変わらず取り残されてしまいます。

「私は午後6時45分に退勤します」または「6時45分に退勤しなければなりません」という考え方に換えられるかどうか肝心なのです。もちろんどうしても外せない仕事があって午後8時まで仕事をせざるを得ない場合もあります。そのときは早く帰れる日に定時に退勤するという、自身のスケジュール管理が必要です。「決められた時間に退勤する」という意識を全員で共有することで初めて、そのためには何が必要で何が不要なのか、どうすることが効率的なのか、どういう工夫が必要なのかを、真剣に議論できると思うのです。

もちろん教員の意識だけで改革を進めるわけではありません。管理職は教育委員会の指導も賜りながら、教員業務の見直しと業務改善の推進を抜本的に進めていかなければなりません。言い方は乱暴かもしれませんが、その時々ONにONを重ねて膨らんだままの業務をそぎ落とし、すっきりさせるのも管理職の仕事です。職住接近で地域の方々との関わりも多い小笠原ですが、そのバランスを図りながらも保護者・地域の方々にも趣旨をご理解の上、ご協力やご負担をいただく場面もあろうかと思えます。「教師のこれまでの働き方を見直し、教師が日々の生活の質や教師人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができる。」という今回の働き方改革の理念の下にこの取組を進めていきますことをどうぞご了承ください。

第3学年「修学旅行」

「瞬感 I do」多くの発見と、多くの感謝を大切に

第3学年担任

5月14日（火）から25日（土）まで、例年よりも少し長い1泊12日の修学旅行に行ってきました。この修学旅行で、3年生は多くの発見をして帰ってくる事ができました。上級学校訪問や企業訪問、上野の動物園や美術館、劇団四季鑑賞、奈良・京都での建築物など、どんな場所、どんなものでも、新しいものに真剣に目を輝かせて見学していました。それは、スローガンにもあるように、修学旅行中の1つ1つを大切に、しっかりと吸収しようとする心があったからだと思います。

「学」を「修めた」修学旅行を、今後の学校生活の中で、多くの形で残し、伝えていきましょう。



【生徒の作文より】

- バンタンゲームアカデミーでは、内地に行く前に授業で面接の練習をしました。しかし、当日実際に担当の方とお会いして直接話すと、とても緊張してしまい、うまく話すことができませんでした。面接練習は良い時間だったし、自分の課題も知ることができました。午後のmixiの企業訪問では、いつもyoutubeで見ている人達がいったり、僕が知っているゲームキャラクターをデザインした人が話をしてくれました。キャラクターへのこだわりや、どのようにして作られたかなどを、知ることができてよかったです。
- 修学旅行では、自分のことは自分でい、物の管理をすることができました。全体での行動や集合時間もしっかりと守ることができたと思います。班行動でも、班の仲間と協力をし、計画通り進めることができました。また、関わってくれた人達にも感謝の気持ちを伝えたり、挨拶したりすることもできました。これらのことができたからこそ、1日1日を大切に、楽しむことができた修学旅行だったのだと思います。
- 修学旅行では、12日間という長い時間でしたが、体調管理がしっかりできました。また、多くの美術館や博物館で、細かいところまでたくさん見ることができました。作品やお寺などは昔から残っているものです。近くで見ることができたことはとても貴重な体験だったと思います。
- この修学旅行では出会った人から学ぶこともたくさんありましたが、自分達で学んだこともたくさんあったと思います。私は、「声かけ」の大切さを学びました。行動中、18人の生徒と6人の先生の集団で行動しました。駅のホームや、狭い道などを歩いた時、先生の声がなかなか届かない時もありました。そこで、しっかりと指示を受け取った人が、受け取れていない人に伝えることが大切だと思いました。

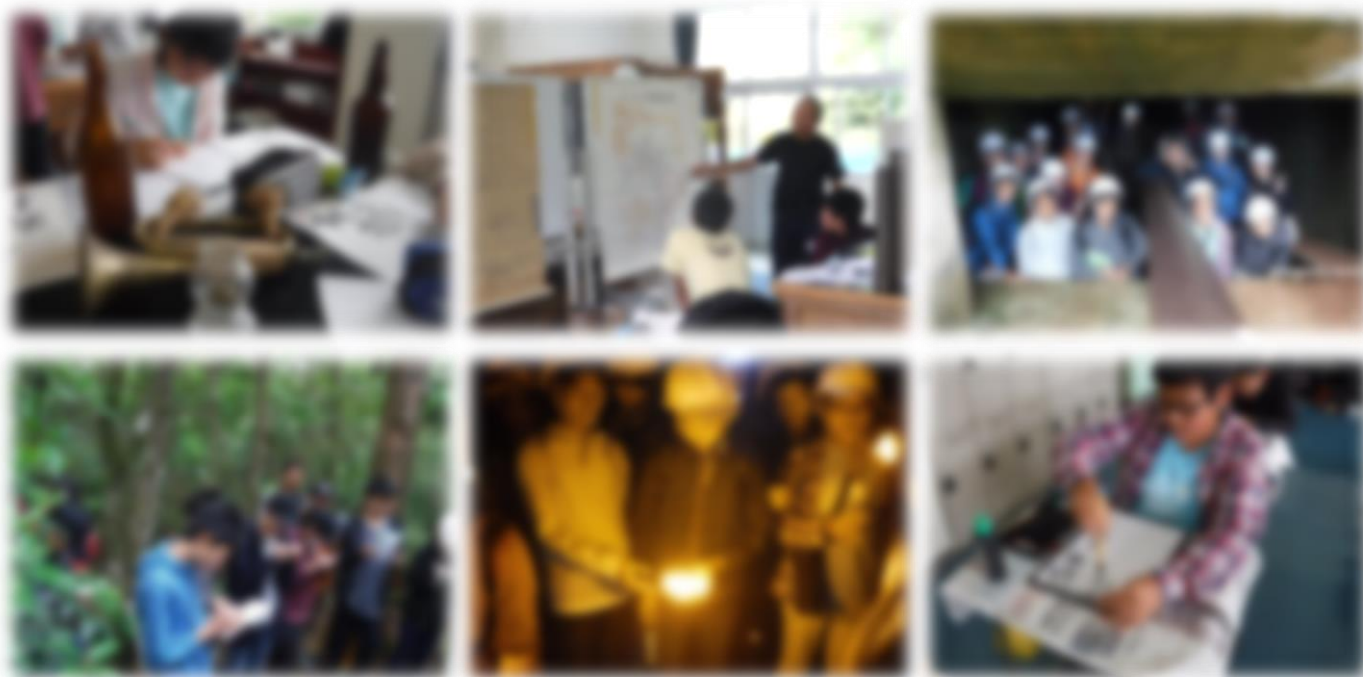


第2学年 「夜明山戦跡調査」

総合的な学習の時間の取組 「今ある命と平和への感謝」

第2学年担当

第2学年では、総合的な学習の時間に平和学習に取り組んでいます。5月は父島の戦跡について学習し、ゲストティーチャーにお迎えして夜明山戦跡調査を行いました。5月16日(木)は事前学習としてお話を伺い、収集された遺留品、地図などを実際に見せていただいて小笠原の戦争の歴史を学びました。17日(金)には夜明山を訪問し、高角砲や弾薬庫跡などを見学しました。途中立ち寄った旭平展望台までの道のりには、普段何気なく通る場所にも戦跡があることを知り、戦時中の生活を身近に感じ取ることができました。生徒達はお話じっくりと耳を傾けながら、学んだことを書き留め、事後学習として川柳と作文にしてまとめました。2日間の学習でかつての小笠原の様子や兵隊として生活した人に思いを馳せ、今ある命と平和への感謝の気持ちを新たにしました。今回の学習を、2学期に訪問する硫黄島での学習に広げていきます。



生徒会 「こどもまつり」

生徒会役員を中心に全校生徒が協力

生徒会担当

4月27日(土)に、お祭り広場にて、こどもまつりが開催されました。例年は5月に行われるこどもまつりですが、今年度は改元のため10連休になることもあり4月に行われました。本校の生徒は、例年通り、「ねんどで遊ぼう」「こいのぼりとかぶとを作ろう」「プロサッカー選手になろう」「箱の中身は何だろうな」を出店しました。

前日の放課後には、生徒会役員を中心に全校生徒が協力して準備しました。準備の甲斐もあり、当日は多くの子どもたちが中学校のブースに集まってきました。中学生達も童心に戻り地域の子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしました。地域の一員として、また、子どもたちのリーダーとして活躍している中学生の姿に、我々教員も嬉しく感じながら有意義な時間を過ごすことができました。



バドミントン部「島しょ大会」

応援ありがとうございました

バドミントン部顧問

5月3日(金)に、港区立御成門中学校で開催されました島しょ大会に出場してきました。4月28日(日)から5月5日(日)の遠征期間、生徒達の島しょ大会に向けての姿勢は素晴らしく、大きく成長できた貴重な経験になりました。大会結果も、男子シングルス1本、女子シングルス1本の都大会出場を決めることができました。バドミントン部にご協力いただき、応援してくださった方々、本当にありがとうございました。



第1学年「母島移動教室」

1年生は6月4日(火)から6日(木)まで、母島移動教室を実施します。2泊3日の主な行程を紹介します。

- 1日目 6月4日(火)
オリエンテーリング(静沢戦跡、鮫ヶ先展望台等の班行動)
営農研修所見学、農家見学
御幸之浜貨幣石見学、ナイトハイク
- 2日目 6月5日(水)
石門(雨天時:草木染め、DVD鑑賞、講義)
- 3日目 6月6日(木)
カカオ農園見学、探照灯基地跡、北村小学校跡、
北港清掃活動、母島中学校にて昼食・交流会

PTAノロ落とし清掃

前日の雨により実施が危ぶまれましたが、当日は前日の雨が嘘のように晴れ渡り、好天の中、PTAノロ落とし清掃を予定通りに実施することができました。小笠原小学校の1～6年生、小笠原中学校の1～3年生、保護者・地域の方々、教職員が共に汗を流し、作業終了後には早速海に飛び込む元気な子どもたちの歓声が青灯台付近に響き渡りました。今年度も青灯台付近での遊泳のために、ご尽力いただきました関係機関のみなさまに厚く御礼申し上げます。

6月の主な予定

- | | |
|---------------------------------------|------------------------|
| 1日(土) PTAノロ落とし清掃 英語検定 | 17日(月) 学校朝礼 |
| 3日(月) 生徒会朝礼 自転車安全点検
安全指導 3年小笠原高校訪問 | 19日(水) 期末考査1日目(理・英・音) |
| 4日(火) 1年母島移動教室(始) | 20日(木) 期末考査2日目(国・技家・美) |
| 5日(水) 芝生の日 | 21日(金) 期末考査3日目(社・数・保体) |
| 6日(木) 1年母島移動教室(終) | 22日(土) 数学検定 |
| 7日(金) 避難訓練 | 24日(月) 学校朝礼 教育実習(始) |
| 12日(水) 部活動中止(20日まで) | 25日(火) お弁当の日 役員会 学級委員会 |
| 13日(木) 第1回進路説明会 | 26日(水) 開校記念日 |
| 14日(金) 食育講話 | 27日(木) 合同・各種委員会・中央委員会 |
| 15日(土) 定期考査事前の学習教室開放 | 28日(金) 役員会 |
| | 29日(土) 漢字検定 |
| | 30日(日) 英語検定(二次) |